



秋田県立支援学校天王みどり学園 研究だより NO.1
平成29年6月1日 発行

ippo(いっぽ)

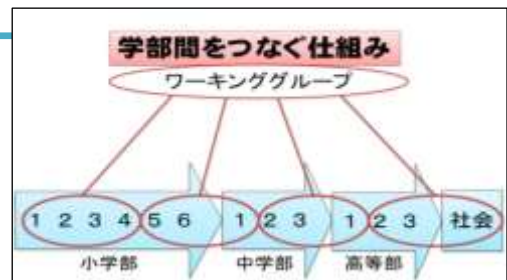
研究だより『ippo』は、『Interaction (相互作用)、Purpose (目的)、Observe (観察)』の頭文字から命名しています。名前の通り、『目的を共有し、互いに観察し合い、高め合う』教職員、そして授業づくりを目指し、様々な情報を発信したいと考えています。

【平成29年度 研究主題】

**児童生徒が「経験から考え、行動する力」を高める授業づくり
～キャリア教育全体計画を活用して～ (1年次/2年計画)**

昨年度からの経緯

平成28年度の研究主題は「キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成」でした。ワーキンググループ(※右下図、学部の繋ぎ目となる学年で構成)の話し合いによる、年間指導計画の検討や授業づくりが行われ、小・中・高の風通しの良い教育課程の編成に繋がりました。同時に、みどり学園版、キャリア教育における目指す姿「キャリア教育全体計画」が整いました。今年度はそれらを活用し、日々の授業をより良いものにしたいと考えています。



今年度の研究について

理由

昨年度の成果

- 各学部の段階に応じた児童生徒の目指す姿、「キャリア教育全体計画」の活用

昨年度の課題

- 児童生徒の場面の変化への対応力
(経験を生かして)

社会的要請

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現へ
(今後の学習指導要領の方向性)

仮説

「キャリア教育全体計画」の視点からの児童生徒の実態把握と目標設定

経験を拡充・深化できるような年間指導計画、発展的な単元の設定

児童生徒が経験を次につなげるための教師の支援のあり方の検討

「経験から考え、行動する」児童生徒へ

上段に掲げる理由から「経験から考え、それをもとに判断して行動できる」児童生徒を育てることが必要と考えました。キャリア教育全体計画を活用し、繰り返しの中からも発展的な授業を展開して子どもたちの力を高めていければと考えています。